

## 2018年度量子ビームサイエンスフェスタ (第10回 MLF シンポジウム / 第36回 PF シンポジウム) 開催のお知らせ

物質構造科学研究所

2018年度量子ビームサイエンスフェスタ(第10回 MLF シンポジウム/第36回 PF シンポジウム)を2019年3月12日(火)~13日(水)の日程で開催する予定となりました。会場はつくば国際会議場(エポカルつくば)です。

このシンポジウムは、施設側スタッフ、ユーザーの皆様が一堂に会することのできる機会ですので、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

また、例年通り、前日の3月11日(月)の夕方からユーザーグループミーティングを開催いただくことも可能です。詳細が決まり次第ホームページやPFニュース等で皆様にお知らせ致します。

## 第3回タンパク質結晶構造解析ビームライン中級者向け講習会~タンパク質結晶構造解析ソフトウェアの使い方について学ぶ~開催のご案内

東京理科大学基礎工学部 西野達哉  
放射光科学第二研究系 山田悠介

### 【開催概要】

今回で3回目を迎えるPF-UAのタンパク質結晶構造解析ユーザーグループ幹事会が主催する中級者講習会ですが、今回はタンパク質結晶構造解析ソフトウェアの使い方方をテーマに行います。

講習会は午前、午後の2部に分けて、午前の部ではより初心者を対象に構造解析の基礎講習を行うとともに、解析ソフトウェアのインストールに関する講習を行います。講師陣による自身のPCへのソフトのインストールサポートも行いますので、実は困っているという中級者の方々もぜひご参加ください。

午後の部では、中級者を対象にXDSやSHELX、CCP4プログラムの講習とともに皆さんが持ち寄ったPCやターミナル室のPCを使用してデータ処理や精密化の演習を行います。皆様奮ってご参加ください。

**主催:** PF-UA タンパク質結晶構造解析ユーザーグループ幹事会

**共催:** 高エネルギー加速器研究機構(創薬等先端技術支援基盤プラットフォーム事業)

**日時:** 2018年10月27日(土) 10:00~

**会場:** 東京理科大学葛飾キャンパス

**参加費:** 講習会は無料。懇親会は別途徴収。ただし、参加に関わる旅費は支給されません。

**プログラム予定:** (発表タイトルは仮です)

午前 タンパク質結晶構造解析の基礎講習とソフトウェアインストールのサポート

- ・パソコンへのXDS/SHELX/CCP4のインストールサポート(希望者)
- ・タンパク質結晶構造解析の基礎 西野達哉(東理大)

午後 各ソフトウェアの演習とPFビームラインからの報告

- ・PFビームラインからの現状報告/全自動ビームタイムの紹介 松垣直宏(高エネ研)/藤橋雅宏(京大)
- ・XDSの紹介 山下恵太郎(東大)
- ・SHELXの紹介 平野優(量研)
- ・XDS/SHELXの演習 山田悠介(高エネ研)
- ・CCP4/cootの講義と演習 真板宣夫(徳島大)

懇親会

**お申し込み方法:**

講習会ホームページ(<http://pfwww.kek.jp/tanpaku/chukyu/3rd.html>)の「参加申込フォーム」からお申込みください(申込開始は9月上旬の予定です)。

**お問い合わせ:**

西野達哉(tnishino@rs.tus.ac.jp), 山田悠介(yusuke.yamada@kek.jp)

## X線顕微鏡研究会開催のご案内

放射光科学第二研究系 木村正雄

電池や触媒に代表されるように、材料の階層構造や様々な不均一性(heterogeneity)が、材料全体の機能を決めているケースは非常に多い。さらに材料の不均一性は作りたての材料の特性を決めるだけでなく、実環境で使用する際の寿命や信頼性をも左右する。そのため、機能発現のための材料設計やその機能の経時変化(劣化、寿命)の制御のためには、そうした材料中の階層構造や不均一性を理解することが必要になる。その理解のためのアプローチ法のひとつとして、様々なX線顕微鏡による観察技術が注目され、様々な材料系に利用されている。IMSS/PFでもこうした分野での研究展開に注力している(<http://sip-sm4i.kek.jp/>)。

本研究会では、当該分野で活躍されている先生方に研究

をご紹介頂くとともに、IMSS/PF で取り組みの現状を紹介し、今後の展望について議論したい。

**開催日：**2018年11月1日(木)～11月2日(金)

**開催場所：**11/1 研究会 (12:30～18:00+技術交流会)：

つくば国際会議場 4F 405 会議室

11/2 見学会 (10:00～12:00)：高エネルギー

加速器研究機構 放射光科学研究施設

**主催：**日本鉄鋼協会 評価・分析・解析部会「X線顕微鏡の鉄鋼分野への応用」フォーラム

**共催：**高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所内閣府 SIP「革新的構造材料」先端計測拠点参加機関 KEK

**定員数：**50名程度

**参加費：**無料(技術交流会：3000円予定)

**参加申し込み方法：**ホームページ <https://pf-form.kek.jp/xafs-ct-workshop/> よりお申込下さい。

**申込開始：**2018年9月3日(月) 予定

**申込期限：**2018年10月26日(金) 15時(定員に余裕があれば当日受付可)

## Photon Factory Activity Report 2018 ユーザーレポート執筆のお願い

PFACR2018 編集委員長 岩野薫 (KEK・PF)

Photon Factory では、施設の活動報告の一環として毎年 Photon Factory Activity Report (PFACR) を公開しております。これは当該年度に実施された実験課題の結果報告集(ユーザーレポート)であり、広く国内外に配布し PF の研究活動についてお伝えしています。皆様のご協力をおもちして 2017 年度版 (PFACR2017) の編集作業は順調に進み、2018 年秋には公開が完了する予定です。

2018 年度版である PFACR2018 の受付を開始しております。つきましては、皆様は 2018 年度に PF で行われた研究の成果をユーザーレポートとしてお送り下さるようお願い申し上げます。2018 年 4 月から 2019 年 3 月までに実施された実験について寄稿して頂くのが基本ですが、データの解析に時間を要する等が考えられますので、期間前の実験結果についての報告も歓迎しています。このユーザーレポートは、2014 年度より共同利用実験課題の終了届を兼ねることになりましたので、課題責任者は一課題につき一報以上をご提出することが求められています。

PFACR は PF が研究活動に関して評価を受ける際の重要な物差しの一つであり、皆様のご寄稿は PF におけるユーザー支援、ひいては皆様のご研究環境の改善に繋がります。積極的にご執筆頂ければ幸いです。

ユーザーレポートの原稿や電子ファイルの準備・投稿要領は PFACR2018 のホームページ(日本語ページ：[https://www2.kek.jp/imss/pf/science/publ/acr/2018/acr\\_submission\\_](https://www2.kek.jp/imss/pf/science/publ/acr/2018/acr_submission_)

[jp.html](https://www2.kek.jp/imss/pf/science/publ/acr/2018/acr-submission-en.html), 英語ページ：<https://www2.kek.jp/imss/pf/science/publ/acr/2018/acr-submission-en.html>) に掲載しておりますのでご覧下さい。執筆は英語もしくは日本語でお願いします。

**<ユーザーレポート提出締切：2019年6月28日(金)>**

## 防災・防火訓練のお知らせ

放射光科学第二系 防火・防災担当

野澤俊介・内田佳伯

高エネルギー加速器研究機構の本年度の防災・防火訓練が **2018年11月29日(木)午後** に実施されます(実施日が天候不良等で延期の場合 2018 年 12 月 4 日(火)の午後)に実施されます。

訓練では、緊急地震速報が発令された場合の対処、地震発生後の機構指定避難場所(PF ニュース裏表紙参照)への避難・誘導、避難場所での職員・ユーザーの安否確認、対策本部への報告等を行います。訓練当日は PF はユーザー運転中、AR はマシンスタディ中です。また、予備日に延期となった場合は PF、AR ともユーザー運転中です。ユーザー運転中の訓練の際は MBS を閉じさせていただきますので、約 1 時間実験ができなくなります。またマシンスタディ中は実験準備等でいらっしゃっている方々には作業を中断して訓練に参加していただく必要がございます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。東日本大震災が発生した日はその日の朝に運転が終了し、実験ホールにはユーザーの方はあまりいらっしゃいませんでしたが、これまで毎年ユーザーの皆様にもご協力いただき訓練を行っていたこともあり、ユーザー・職員は訓練どおりに避難し、安否確認なども迅速に行うことができました。実験装置の転倒、落下等の被害はあったものの、幸いにして人的被害が全くなかったことは、日頃のユーザーの皆様のご防災意識と、毎年の防災・防火訓練に起因していると確信しております。PF では多くのユーザーが閉じられた空間で実験を行っており、放射線や化学薬品、高圧ガスなども扱っていますので、非常時には迅速な対応が取れるよう、訓練が極めて重要と考えております。一人でも多くの方に参加していただけますようご協力をよろしくお願い致します。

## 平成 31 年度前期共同利用実験課題公募について

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所の放射光科学研究施設(フォトン・ファクトリー)は、電子蓄積リングから放出される放射光を用いて研究を行うための全国共同利用研究施設です。

一般(G型)、特別2(S2型)、大学院生奨励(T型)の次の公募は 10 月上旬から受付開始し、締切は 11 月中旬

を予定しております（低速陽電子実験施設の共同利用実験課題を併せて公募します）。緊急かつ重要（U型）、予備実験・初心者（P型）、特別1（S1型）については随時受付をしています。

申請は専用 Web ページ（<https://pmsweb.kek.jp/k-pas>）にアクセスして、必要事項を入力して下さい。これまで PF を利用されていない方は新規にユーザー登録が必要になりますので、余裕を持って申請ください。締切時間は Web システムで設定されており、少しでも締切時間をすぎますと受け付けられなくなりますので十分ご注意ください。2月に審査結果の速報が電子メールで送られる予定です。採択された課題は平成31年4月に有効となり、実験が開始できます。

公募要項は「実験・研究公募要項（放射光共同利用実験）」（<https://www2.kek.jp/uskek/apply/pf.html>）をご覧ください。PFのホームページ「PFで放射光利用実験を行うには（利用プログラム）」（<https://www2.kek.jp/imss/pf/use/program/>）にも詳細を掲載しています。

不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

**研究協力課 共同利用支援室 共同利用係**

**Tel: 029-864-5126 Fax: 029-879-6137**

**Email: kyodo1@mail.kek.jp**

## 平成31年度前期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

物質構造科学研究所長 小杉信博

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいませようお願いします。

### 記

1. 開催期間 2019年4月～9月
2. 応募締切日 2018年12月21日（金）  
〔年2回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4判、様式任意）
  - (1) 研究会題名（英訳を添える）
  - (2) 提案内容（400字程度の説明）
  - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
  - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
  - (5) 開催を希望する時期
  - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名

## 4. 応募書類送付先（データをメールに添付して送付）

放射光科学研究施設 主幹秘書室

Email: pf-sec@pfqst.kek.jp TEL: 029-864-5196

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1件当り上限30万円程度）。開催日程については、採択後にPAC委員長と相談して下さい。また、研究会の報告書をKEK Proceedingsとして出版していただきます。

## KEK 一般公開のお知らせ

一般公開実行委員会

放射光科学第一・第二研究系 間瀬一彦、加藤龍一  
加速器第七研究系 山本尚人

今年度のKEK一般公開は9月2日（日）に開催されます。普段は見ることのできない施設や装置が多数公開となるほか、第一線で活躍する研究者による講演、こども向け体験コーナーなど、様々な企画を用意してお待ちしております。

PFでは、今年は「はかる」をテーマに展示を行います。実験ホールでは、光を使っているいろいろなものを「はかる」ための機器の展示と説明を行います。光を「はかる」ための装置を、古いものから最新のものまで展示します。また、最新の検出器を備えた3つの実験ステーションの公開と説明を行います。（1）生命の研究から薬の開発にも役立つタンパク質結晶構造解析ステーション。我々の暮らしを豊かにする先端材料の分析研究を行う（2）X線吸収分光ステーションと（3）光電子分光ステーション。それぞれの分野で、最先端の研究機器をご覧頂けます。実際のビームライン機器を使った放射光実験の解説など、楽しく見て触って学べる展示をPFスタッフ一丸となって準備中です。また、昨年に引き続き、PF加速器リングの公開を今年も行います。1周187メートルの加速器リングに整然と並ぶ電磁石群や挿入光源などの実物を見学することが可能です。景品付きクイズラリーも例年通り実施予定です。

今年度新しい試みとして、研究本館に物構研の概要展示コーナーを設けます。そこで興味を持たれた方が、実際の施設（PFサイト）を見に来られることを期待しています。PFサイトでは放射光だけでなくそれ以外の物構研の研究紹介も行う予定で、中性子・ミュオン・低速陽電子それぞれのビームを利用した研究や、J-PARC MLFの解説などを行います。

講演は、今年度から物構研の所長に着任された小杉信博教授による「X線を使った分子同士の相性診断 ～アルコールは本当に水とよく混ざるのか～」ほか3件が予定されています。また、参加者も研究者と議論したり実験に参加できるサイエンスカフェとして、PFの村上洋一教授による「磁石にくっつく、くっつかないの不思議」ほか3件

が予定されています。その他にも、霧箱教室、光の測定器製作教室、科学おもちゃで遊ぼう、多摩六都科学館の出張教室よりにスライムで遊ぼう、なども準備中です。お子さんからお年寄りまで楽しめるような企画が盛り沢山ですので、放射光ユーザーの皆様も普段とは異なる KEK を楽しんでいただけたらと思います。ご家族、ご友人お誘い合わせの上、KEK 一般公開にお越し頂きますよう職員一同心よりお待ち申し上げます。

一般公開当日は、つくばセンター（つくばエクスプレス「つくば駅」下車すぐ）と KEK 間の無料送迎バスが運行されます。自家用車でお越しの方は、KEK 内に臨時駐車場を設置しておりますので直接 KEK までお越しください。KEK 構内の移動には無料の巡回バスがご利用いただけます。KEK 一般公開に関する詳しい情報は <https://www.kek.jp/ja/PublicRelations/Events/Openhouse/> をご参照ください。物構研の一般公開 2018 特設サイト (<https://www2.kek.jp/imss/news/2018/topics/openhouse/>) も随時更新中です。

**1. 日時：**2018 年 9 月 2 日（日）9:00～16:30

**2. 公開施設：**フォトンファクトリー、電子陽電子入射器、SuperKEKB 加速器、Belle-II 測定器、KEKB 富士実験棟、コッククロフト・ウォルトン型加速器、超伝導低温工学センター、計算科学センター、放射線科学センター、機械工学センター、先端計測実験棟、先端加速器試験棟（ATF）、超伝導リニアック試験施設棟（STF）など

**3. 展示：**トリスタンから KEKB へ、理論展示 2018、T2K ニュートリノ振動実験、J-PARC、ATLAS 実験

**4. 講演（小林ホール）：**

◇ 10:00～10:45 西田 昌平（KEK 素粒子原子核研究所

准教授）

「いよいよ始まった Belle II 実験～消えた反物質の謎～」

◇ 11:15～12:00 柴田 恭（KEK 加速器研究施設 准教授）  
「ビームの初衝突！！本格稼働を開始した SuperKEKB 加速器」

◇ 13:30～14:15 佐貫 智行（東北大学大学院 准教授）  
「国際リニアコライダーって何？」

◇ 14:45～15:30 小杉 信博（KEK 物質構造科学研究所 所長）  
「X線を使った分子同士の相性診断 ～アルコールは本当に水とよく混ざるのか～」

**5. サイエンスカフェ（国際交流センター）：**

◇ 10:00～10:45 山内 正則（KEK 機構長）  
「宇宙の4つの謎」

◇ 11:15～12:00 村上 洋一（KEK 物質構造科学研究所 教授）  
「磁石にくっつく、くっつかないの不思議」

◇ 13:30～14:15 栗本 佳典（KEK 加速器研究施設 准教授）  
「最強陽子ビームを作れ！～J-PARC メインリング増強計画～」

◇ 14:45～15:30 関口 哲郎（KEK 素粒子原子核研究所 研究機関講師）  
「ニュートリノカフェ ～謎多き素粒子ニュートリノのおはなし～」

**6. その他の主な企画：**霧箱教室、光の測定器製作教室、科学おもちゃで遊ぼう、多摩六都科学館の出張教室、なんでも質問コーナー、KEK 古本市、理論クイズ王決定戦、量子色力学カードゲーム、総研大コーナー、など。

## 予 定 一 覧

2018 年

9 月 2 日 KEK 一般公開（KEK）  
9 月 4～7 日 OHO' 18 セミナー（KEK）  
9 月 7～8 日 PF 研究会「X線とクライオ電子顕微鏡で挑む生命の機能とカタチ」（KEK・研究本館）  
10 月 27 日 第3回タンパク質結晶構造解析ビームライン中級者向け講習会  
～タンパク質結晶構造解析ソフトウェアの使い方について学ぶ～（東京理科大学葛飾キャンパス）  
11 月 1～2 日 X線顕微鏡研究会（つくば市・つくば国際会議場、KEK・放射光科学研究施設）  
11 月 16 日 PF 平成30年度第二期ユーザー運転開始  
11 月 20 日 PF-AR 平成30年度第二期ユーザー運転開始  
11 月 29 日 防災・防火訓練  
11 月 3～4 日 総研大30周年記念シンポジウム（東京大学駒場 I キャンパス）  
12 月 19 日 PF, PF-AR 平成30年度第二期ユーザー運転終了  
12 月 21 日 平成31年度前期フォトン・ファクトリー研究会応募締切

2019 年

1 月 9～11 日 第32回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム（福岡国際会議場）  
3 月 12～13 日 2018 年度量子ビームサイエンスフェスタ／第10回 MLF シンポジウム／  
第36回 PF シンポジウム（つくば市・つくば国際会議場）

※最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> をご覧下さい。

## 第 32 回日本放射光学会年会・ 放射光科学合同シンポジウム開催要項

1. 開催日 2019 年 1 月 9 日(水), 10 日(木), 11 日(金)

2. 場所 福岡国際会議場 (福岡県福岡市博多区石城町 2-1)

3. 主催 第 32 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム組織委員会

共催 日本放射光学会(主幹), 佐賀県立九州シンクロtron光研究センター, 大阪大学蛋白質研究所, 科学技術交流財団あいちシンクロtron光センター, 九州大学シンクロtron光利用研究センター, 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所, 高輝度光科学研究センター, 佐賀大学シンクロtron光応用研究センター, 産業技術総合研究所分析計測標準研究部門, 自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設, SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC), SLiT-J ユーザー共同体, 東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設, 東京大学放射光分野融合国際卓越拠点, 東京理科大学総合研究院赤外自由電子レーザー研究センター, 名古屋大学シンクロtron光研究センター, 日本原子力研究開発機構, 日本大学電子線利用研究施設, PF ユーザーアソシエーション (PF-UA), 光科学イノベーションセンター, 兵庫県立大学 New SUBARU, 広島大学放射光科学研究センター, VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会, UVSOR 利用者懇談会, 理化学研究所放射光科学研究センター, 立命館大学SRセンター, 量子科学技術研究開発機構

4. 組織委員会 ([ ]は推薦団体, ( )は所属機関, ○は委員長)

東純平[副組織委員長(佐賀大)], 雨宮健太[KEK-PF], 石井賢司[量研機構], 稲田康宏[放射光学会会計幹事(立命館大 SR)], 江島丈雄[SLiT-J], 岡島敏浩[副プログラム委員長(SAGA-LS)], 小田島肇[光科学イノベーション], 郭其新[副実行委員長(佐賀大)], 加藤政博[分子研], 北島昌史[PF-UA], 木村滋[JASRI], 木村昭夫[SPRUC], 木村真一[VUV・SX 懇, UVSOR 懇(阪大)], ○組頭広志[組織委員長(東北大)], 小杉信博[放射光学会会長], 鈴木哲[兵庫県立大], 妹尾与志木[実行委員長(SAGA-LS)], 副島雄児[副実行委員長(九大)], 曾田一雄[名大], 高原淳[プログラム委員長(九大)], 竹田美和[AichiSR], 築山光一[東京理科大], 徳永信[九大], 豊川弘之[産総研], 生天目博文[HisOR], 初井宇記[理研], 早川 恭史[日大], 平田靖透[東大物性研, 東大放射光分野融合国際], 福田竜生[原子力機構], 山下栄樹[阪大蛋白研]

5. プログラム要綱

- ・ 9 日午後に総会, 各賞の受賞講演を開催予定です。
- ・ 10 日夕方に懇親会を開催予定です。
- ・ 企画講演, オーラルセッションは 10 日, 11 日に行う予定です。
- ・ ポスターセッション, 企業展示, 施設報告は 10 日, 11 日に行う予定です。

## 6. 参加費・懇親会費

区分		11月30日までに支払	12月1日以降 (現金での支払いを お願いいたします)
一般	放射光学会員	6,000円	7,000円
	共催団体(特別賛助団体)会員・職員	7,000円	8,000円
	共催団体(上記以外)会員・職員	8,000円	9,000円
	非会員	12,000円	13,000円
学生	放射光学会員	3,000円	4,000円
	共催団体会員	3,000円	4,000円
	非会員	4,000円	5,000円

### 参加費

### 懇親会費

区分	11月30日までに支払	12月1日以降 (現金での支払いを お願いいたします)
一般	6,000円	7,000円
学生	3,000円	4,000円

- ・ 発表申込時に参加登録を一緒に行っていただきます。その際、参加費および懇親会費の支払いの手続きも行ってください。事前の支払いは、クレジットカード払い、銀行振込が可能です。手続きの方法は、参加登録開始後放射光学会ホームページ上(<http://www.jsrr.jp>)でご確認ください。なお、参加をキャンセルされた場合の返金はいたしません。
- ・ 参加登録のみの場合も、同じく学会ホームページからできるだけ事前に行ってください。
- ・ 11月30日までに事前に支払手続きを行わない場合は、12月1日以降の参加費を現地受付でお支払いください。
- ・ プログラム(冊子)は当日現地受付にてお渡しいたします。また、予稿集はWeb公開のみです。(12月上旬公開予定、一つのPDFファイルにまとめたものもご用意いたします)。11月30日までに支払を済まされた方には、公開時に閲覧のためのパスワードを送付いたします。会場には無線LANが届かない部屋もありますので、予めダウンロードいただくことをお勧めいたします。なお、会場でも貸出用USBメモリーから、ご自分のPCにコピーすることができます。

## 7. 発表者資格

- ・ 日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムの一般講演・ポスターの発表者(登壇者またはポスターの発表の場合は説明者)は、共催団体の会員か職員に限ります。
- ・ 発表を希望される方で、発表申込み時点で発表者資格を有しない方は、発表当日までに資格を取得する必要があります。
- ・ 発表者が共催団体の会員・職員である場合は、共同発表者の中に上記の資格を満たさない方が含まれていても差し支えありません。

## 8. 発表申込について

- ・受付開始:2018年9月3日(月)
- ・申込締切:2018年10月2日(火) 17:00 厳守

申込方法:日本放射光学会ホームページ(<http://www.jssrr.jp>)を通して、発表申込、予稿集原稿提出、参加申込を行ってください。

- ・ ネットワークトラブル回避の為、締切日直前の申込みはなるべく避けて下さい。
- ・ 発表形式:オーラルとポスターがあります。希望される発表形式を選択して下さい。
- ・ 発表番号通知:2018年11月上旬に日本放射光学会ホームページ上で公開いたします。

## 9. 予稿集原稿について

- ・ PDFファイルで作成の上、発表申込の際に投稿してください。
- ・ 原稿形式 発表1件につき、予稿は1/1ページ(A4/縦置き)です。
- ・ A4(縦長)に下記の要領で文字を打ち込み、原稿を作成して下さい。
  - ①用紙の余白/上2.5 cm, 下1.5 cm, 左右2.5 cm
  - ②1行目左端… 実験を行った施設名(12ポイント)
  - ③2行目中央… 表題(18ポイント)
  - ④3行目… 空ける
  - ⑤4行目中央… 著者名・所属(14ポイント)
  - ⑥5行目代表著者のメールアドレス(E-mail: …の形式;14ポイント)
  - ⑦6行目… 空ける
  - ⑧7行目… 本文(14ポイント)
- ・ 文字化けを避けるために必ずフォントを埋め込んでファイルを作成して下さい。

## 10. プログラムの掲載

- ・ プログラムは、11月上旬に日本放射光学会ホームページ上に掲載いたします。
- ・ 日本放射光学会誌「放射光」第31巻6号(2018年11月末発行予定)に掲載いたします。

## 11. 企画講演の公募

前回と同様に、会員全体から企画講演を公募します。企画講演の形式や応募先・締切等は以下を参照ください。

- ・ 時間配分:趣旨説明を含めて全体で90~160分の企画講演を3枠公募します。  
(本年は、プログラム委員会提案の企画講演で上記以外の1枠分を使用します)
- ・ 企画の提案者には、講演の最初に趣旨説明と会期終了後の報告書の提出をお願いします。
- ・ 応募先:第32回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム事務局([jsr2019@jssrr.jp](mailto:jsr2019@jssrr.jp))  
宛に電子メールで、①企画講演タイトル、②提案理由(200字程度)、③講演者および時間配分を明記し、応募してください。
- ・ 応募締切:2018年8月28日(火) 9:00

## 12. 会場へのアクセス, 交通のご案内

○電車を利用する場合

地下鉄呉服町駅より徒歩 12 分

地下鉄中洲川端駅より徒歩 15 分

西鉄天神駅より徒歩 22 分

地下鉄天神駅より徒歩 22 分

JR 博多駅より徒歩 27 分

○バスを利用する場合

JR 博多駅(博多口) — 博多駅シティ銀行前(F のりば 99 番)12 分 — 【博多ふ頭行】国際センターサンパレス前下車 — 徒歩すぐ

JR 博多駅(博多口) — 博多駅シティ銀行前(F のりば 88 番)12 分 — 【中央ふ頭行】国際センターサンパレス前下車 — 徒歩すぐ

西鉄・地下鉄 天神駅 — ソラリアステージ前(2A のりば 80 番)9 分 — 【中央ふ頭行】国際センターサンパレス前下車 — 徒歩すぐ

地下鉄 呉服町駅 — 呉服町(都市高速・蔵本方面 88 番)7 分—【中央ふ頭行】国際センターサンパレス前下車 — 徒歩すぐ

○車/タクシーを利用する場合

車【都市高速利用】

福岡市の西側(唐津方面)から — 東浜ランプ 約 5 分

福岡市の南側(太宰府方面)から — 築港ランプ 約 3 分

福岡市の東側(北九州方面)から — 築港ランプ 約 3 分

タクシー

福岡空港から 約 15 分

博多駅から 約 10 分

天神から 約 6 分

# 運転スケジュール(Sep. ~Dec. 2018)

E : ユーザー実験    B : ボーナスタイム  
 M : マシンスタディ    T : 立ち上げ  
 MA : メンテナンス    HB : ハイブリッド運転

9月	PF	PF-AR	10月	PF	PF-AR	11月	PF	PF-AR	12月	PF	PF-AR
1(土)			1(月)			1(木)			1(土)	E	E
2(日)			2(火)			2(金)			2(日)	E	E
3(月)			3(水)			3(土)			3(月)	E	E
4(火)			4(木)			4(日)			4(火)		
5(水)			5(金)			5(月)	STOP		5(水)	B	B
6(木)			6(土)			6(火)			6(木)	M	M
7(金)			7(日)			7(水)		STOP	7(金)		
8(土)			8(月)			8(木)			8(土)	HB	E
9(日)			9(火)			9(金)			9(日)	HB	E
10(月)			10(水)			10(土)			10(月)	HB	E
11(火)			11(木)			11(日)			11(火)		
12(水)			12(金)			12(月)	T/M		12(水)		B
13(木)			13(土)			13(火)			13(木)	M	
14(金)			14(日)			14(水)			14(金)		
15(土)	STOP	STOP	15(月)	STOP	STOP	15(木)			15(土)		
16(日)			16(火)			16(金)			16(日)	HB	E
17(月)			17(水)			17(土)			17(月)	HB	E
18(火)			18(木)			18(日)	E	T/M	18(火)		
19(水)			19(金)			19(月)	E		19(水)		
20(木)			20(土)			20(火)		E	20(木)		
21(金)			21(日)			21(水)	B	B	21(金)		
22(土)			22(月)			22(木)			22(土)		
23(日)			23(火)			23(金)			23(日)		
24(月)			24(水)			24(土)			24(月)		
25(火)			25(木)			25(日)	E	E	25(火)	STOP	STOP
26(水)			26(金)			26(月)			26(水)		
27(木)			27(土)			27(火)			27(木)		
28(金)			28(日)			28(水)	B	B	28(金)		
29(土)			29(月)			29(木)		M	29(土)		
30(日)			30(火)			30(金)	E	E	30(日)		
			31(水)						31(月)		

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<https://www2.kek.jp/imss/pf/>)の「PFの運転状況／長期スケジュール」(<https://www2.kek.jp/imss/pf/apparatus/schedule/>)をご覧ください。